

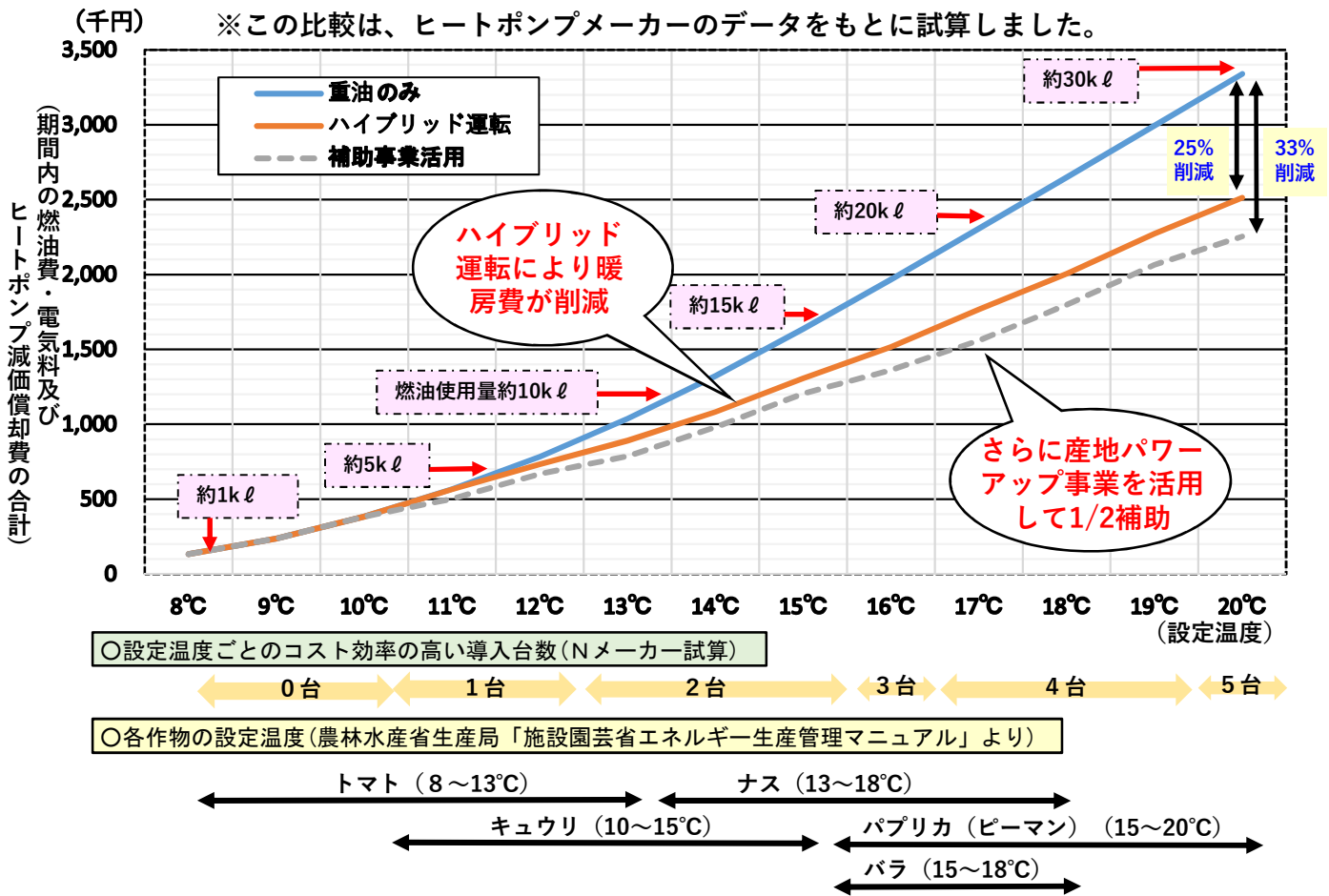
施設園芸の燃油高騰対策

ヒートポンプで燃料経費の削減

厳寒期には燃油暖房機を運転し、それ以外はエネルギー効率の良いヒートポンプを優先するハイブリッド運転により、燃油使用料を削減できます。生育に適した施設内温度を保つことにより営農にも支障が生じません。

★重油加温機とヒートポンプ(ハイブリッド型)の暖房経費比較

(設定温度ごとのコスト効率の高いヒートポンプ導入台数での暖房費の比較)



【その他のメリット】

・除湿によりカビや病気、裂果の予防 ・CO2排出量の低減など

【試算条件】

- ・施設面積 10.08a、硬質フィルムで被覆した屋根型鉄骨ハウス(連棟)、内張カーテン1層、重油価格(消費税込) 110円/L
- ・暖房運転の稼働は、11~4月の17時から翌朝9時(日中も暖房する場合は、上記暖房経費差は拡大するとみられます)
- ・外気温はアメダス気象データ(福岡の平均年気温、最低外気温-1.1°C)を使用
- ・電気料金は九州電力低圧季時別電力プラン(消費税込、基本料金含む)
- ・初期投資費用として、ヒートポンプ1台 894,700円(設置費含む)、2台目以降は1台725,000円を減価償却7年で試算
- ・導入台数は、設定温度においてランニングコストと減価償却の合計が最も低い値を使用

★実際のヒートポンプの導入にあたっては、地域によって外気温等が異なるため、暖房費の試算などお近くの各販売メーカーにご相談ください。

令和4年度補正予算 産地生産基盤パワーアップ事業 「施設園芸エネルギー転換枠」新設

燃油高騰に対応するため、施設園芸の省エネ化を進める制度が創設されました。

この制度は、地球温暖化の要因であるCo2削減にも貢献します。

事業実施の内容

- ★ 化石燃料を使用している加温設備（重油ボイラー等）を既に有するパイプハウス、低コスト耐候性ハウス等が対象です。
- ★ 令和5年度中に設置するものについては、ヒートポンプ等の設置費用も補助対象！
- ★ 補助率は1/2

対象機器

- ★ 化石燃料を使用しない加温機(ヒートポンプ、木質バイオマスボイラー等)等の省エネ機器のリース導入及び、省エネ機器と合わせて導入する内部設備（循環扇、多段式サーモ、内張カーテン等）
- ★ 省エネ機器を有するハウスに導入する内部設備のリース導入等（省エネ機器を有さないハウスへの導入は対象とならない）

要望調査

- ★ 下記の日程で要望調査を行いますので、ご相談のある方は、お近くの市町村、JA、各県の施設園芸担当部局、九州農政局各県拠点、九州農政局生産部園芸特産課までご相談ください。

第1回目要望調査	～3月17日締切
第2回目	～4月28日締切
第3回目	～5月31日締切



ヒートポンプ

(九州農政局生産部園芸特産課の連絡先)
農政調整官（野菜経営）、施設園芸支援係
096-211-9111（内4469、4473）